

令和2年度

事業報告

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

はじめに

神奈川県老人クラブ連合会は、県内31の市町村老人クラブ連合会を会員として、その連携と協働により、公益財団法人として9年目を迎えました。

老人クラブは地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として、友愛の精神のもと、仲間づくりや健康と生きがいをづくり、サークル活動など生活を豊かに楽しくする活動を行うとともに、高齢者の知恵や経験を生かし、地域の諸団体とも共同して友愛活動、奉仕活動、地域文化の伝承活動等地域を豊かにする社会活動に取り組んでいます。

令和2年7月1日現在で、県内1,427の老人クラブが、こうした明るい長寿社会と保健福祉の向上を目指した活動をしています。

神奈川県老人クラブ連合会ではこのような諸活動を支援することを目的として、

『か』かがやいて元気に生きる

『な』なかまを広げて仲良く生きる

『が』学習・参加で豊かに生きる

『わ』わくわくニコニコ楽しく生きる

の4つの基本方針に基づき、県からの委託事業や補助事業を活用して、健康づくり実践教室や事業活動基金を活用したニュースポーツ交流の集い、ゆめクラブ大学等による健康づくり、生きがいをづくり事業に、また、県老連の主要事業である高齢者相互支援事業（友愛チーム活動）では、寝たきりや一人暮らしの体の弱い高齢者の話し相手や日常生活の支援などの高齢者相互の支援活動を進め、「社会奉仕の日統一活動」では公園や道路等の清掃などの美化活動、環境に優しい活動に取り組みました。

一方で、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域での活動場所の確保も困難となるなど、活動には多くの制約が強いられた年でもありました。外出の自粛が求められる中で、会員や地域に暮らす高齢者の心身の健康が損われることが心配されましたが、こうした中であっても、マスクづくりプロジェクトや、スマホなどの情報通信機器を活用した地域や仲間のつながりを持続させるための工夫なども進められています。

令和2年度に実施した事業の詳細については、次頁以下のとおりですが、この一年間、会員皆様方のご理解ご協力のもとに役員、各委員、事務局が一体となり、厳しい財政状況の中においても円滑な事業運営が果たすことができましたことに深く感謝いたしますとともに、今後とも皆様方の一層のご協力をお願いいたします。

目 次

I 事業報告

『か』 かがやいて元気に生きる

- 1. 健康活動に関する事業 1
- 2. 生きがい及び文化活動に関する事業 2

『な』 なかまを広げて仲良く生きる

- 1. 高齢者相互支援事業に関する事業 2
- 2. 社会参加活動に関する事業 3

『が』 学習・参加で豊かに生きる

- 1. 市町村老連の強化及び指導者の養成 4
- 2. 広報活動事業の実施 5
- 3. 調査及び情報の収集提供等 5

『わ』 わくわくニコニコ楽しく生きる

- 1. 役員会の開催 6
- 2. 老人クラブの組織の強化 6
- 3. 各種大会、つどい等の開催及び参加 6
- 4. 連絡調整事業の実施 6
- 5. 財政基盤の確立及び募金運動の展開 8

1 健康活動に関する事業

(1) 高齢者健康づくり実践教室の実施

高齢者が自らの心身の状況を把握し、日常から健康づくりを続けることを目標に開催した。

ア 横三ブロック

実施日：令和2年7月11日

会場：鎌倉市深沢学習センター

参加者：68人

内容：フレイルについて

県老連 活動推進員・健康運動指導士 松田冴子
フレイルチェック、フレイル予防・健康体操(実技)

イ 県央ブロック

「楽しく介護予防しましょう」(12月16日)を企画していたが、新型コロナウイルス感染症に対応した緊急事態宣言が再発出され中止となった。

(2) ニュースポーツ交流の集いの開催

高齢者向けのニュースポーツの普及と健康づくり並びに交流を目的に、事業活動基金を活用して、県下各ブロックでスポーツ交流が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、西湘ブロックを除き実施が見送られた。スポーツ交流を実施できなかったブロックへの活動基金からの助額は、健康に資する事業に活用いただいた。

西湘ブロック

実施日：令和2年11月10日

会場：酒匂川スポーツ広場

参加者：107人

内容：グラウンドゴルフ

(3) 健康チャレンジフェアかながわへの参加

健康チャレンジフェアかながわ実行委員会(かながわ健康財団等24団体)が主催する健やかで心豊かな暮らしの実現と健康寿命日本一を目指して、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的に開催してきた「健康チャレンジフェアかながわ」の書面会議に参加した。

○健康チャレンジフェアかながわ2020の開催見合せ

令和2年9月書面表決 全会一致で承認

(4) 高齢者社会参画・生きがいづくり支援事業(県委託事業)

地域での健康づくり活動、生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動との連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きが

いづくりによる介護予防を推進した。

《ゆめクラブ大学》

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者を対象として、湘南、西湘、足柄上の県下3ブロックで「ゆめクラブ大学」を各2日間開催し、健康づくり、健康体操、介護予防に関する講座などを実施した。

参加者：206人

《地域支援事業担い手養成研修事業》

老人クラブ会員以外の人も含め、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するために必要な知識や技能を習得するための研修を実施し、社会参加の普及推進を図った。

- ・モデル研修（湘南、足柄上の2地区） 173人
- ・ブロック研修（湘南1ブロック） 68人（足柄上ブロックは企画後中止）
- ・シンポジウム（1回）

コロナの影響を考慮し、参集は避けて収録し、動画・DVD配信とした。
収録日：令和3年2月9日 会場 平塚プレジール

- ・講演「コロナで改めて考えよう～「地域をつなげる」老人クラブの役割とは？」

（公財）ダイヤ高齢社会研究財団 澤岡 詩野

- ・事例発表

① 南足柄市 福沢・北足柄地区

おたがいさまネット全市に向けて 永田 米昭

② 藤沢市 片瀬地区

スマホで実現！地域のつながり 岩田 克美

- ・座談会 講師と事例発表者など4名による座談会

2 生きがい及び文化活動に関する事業

(1) かながわシニアスポーツフェスタ2020への協賛と参加

（公社）かながわ福祉サービス振興会が主催する高齢者の日頃の健康づくり、スポーツ活動の成果の発表の場として行われた事業を後援し会員の参加を呼びかけた。

日程：令和2年4月～3年3月 各種目ごとに県内各地域で実施

主な会場：神奈川県立スポーツセンター、小田原テニスガーデンほか

競技種目：グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、健康マージャン、弓道、テニス、卓球、インディアカ、ダンスなど

な

なかまを広げて仲良く生きる

1 高齢者相互支援事業に関する事業

(1) 老人クラブ友愛チーム活動事業の推進（県補助事業）

高齢者相互支援事業の一環として、老人クラブ会員を中心に友愛チームを編成し、在宅者等を対象に日常生活の簡単な支援や話し相手となった。

友愛チームの設置：26市町老連 440チーム（内3チームは上半期のみ）
（相模原市老連は別に136チーム）

(2) 友愛活動等支援事業の実施（県補助事業）

多くの高齢者が地域社会の中で生きがいのある生活を送れるよう、友愛サロン、健康に関する講座やパークゴルフなどのスポーツ活動等を県下24市町村老連で開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で7市町では中止された。

参加者：3,405人

(3) 友愛チーム資質向上研修会の開催（県委託事業）

全国三大運動の一つとして位置づけられている友愛チーム活動について、県下4ブロック（うち1ブロックは書面開催）で、具体的実践活動を行う友愛チーム員の資質向上研修会を実施した。

参加者：229人

2 社会参加活動に関する事業

(1) 地域活動支援事業

ア 老人クラブ開放・地域連携モデル事業

市町村老連が行う老人クラブ活動を広く地域の人々に広報するとともに、世代間、地域間の交流を深める事業を支援した。

実施老連：5市老連

参加者：264人

イ 地域の安全安心支援事業

子供の見守り活動を行っている単位クラブでの登下校を中心とした見守り活動、特殊詐欺被害防止の研修会など、安全安心な地域づくり事業を支援した。

実施老連：6市町老連

参加者：9,806人

ウ 市町村老連パソコン活用事業の支援

市町村老連で進めるパソコン活用のための研修会の開催等を支援した。

実施老連：2市老連

参加者：569人

(2) 老人クラブ社会奉仕の日統一活動の実施

各市町村老連において、美化活動・環境にやさしい活動等を行った。

実施日：令和2年9月20日及び9月20日を中心とした時期

参加者：延べ646単位クラブ、延べ18,635人

(3) 共同募金街頭活動

赤い羽根共同募金運動に対して女性会議も協力して街頭募金活動を行った。

実施日：令和2年10月2日

場 所：桜木町駅

参加者：小川榮子(南足柄市老連)、山崎喜代子(厚木市老連)、
太田恵子(シニアクラブ大和)

1 市町村老連の強化及び指導者の養成**(1) 県老連役員研修会の開催**

新型コロナウイルス感染症に配慮し、今年度は実施を見送った。

(2) ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催

単位老人クラブリーダー及び新任会長を中心に、その資質の向上を目的に県下を4ブロック(うち3ブロックは書面開催)に分けて実施した。(湘南Aブロック、横三ブロック、西湘ブロックは中止)

参加者：79人

(3) ゆめクラブ神奈川女性会議研修会の開催**第1回**

実施日：令和2年5月23日(書面開催)

- ア) 「マスクづくりプロジェクト」案内と作成キットを送付
- イ) 作成報告を随時送ってもらい、県老連のHP、ツイッター、ゆめジャーナル199号・200号で紹介

第2回

実施日：令和3年1月21日(書面開催)

- ア) 感染予防をしての活動についてなどの資料送付
- イ) 地元の活動についてアンケートを実施

(4) 関東甲信越静岡ブロック研修会等への参加

関東甲信越静岡の1都10県5市の老人クラブ連合会が集まって行う研修会の開催予定であったが、新型コロナウイルスへの対応から中止、WEB開催となった。

ア 老人クラブリーダー研修会

持回り順により、横浜市老連主催で6/25～6/26の実施予定であったが、コロナの影響を考慮して中止された。

イ 活動推進員等研修会

持回り順により、千葉県老連の主催によりWeb会議として実施された。

実施日：令和3年2月9日

- 協議事項：1 若手リーダーの育成
2 連合会及び単位クラブへの補助金

- 情報交換：1 30人未満の単位クラブの取扱い
2 休会したクラブの復活に向けた取り組み 他

(5) 全老連研修会等への参加

「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」(全老連)

コロナの影響を考慮して中止され、研修内容のDVDが資料送付され、県内の31市町村老連に配布した。

【DVDの内容】

- ・生活支援「地域支え合いにおける老人クラブへの期待について」
- ・医療「上手な医療の受け方」 他

2 広報活動事業の実施

(1) 広報紙『ゆめジャーナル神奈川』の発行

県老連が単位クラブを經由して身近な情報を各クラブ会員に提供することにより県老連と会員との絆を深め、さらには市町村老連との連携強化のため「ゆめジャーナル神奈川」の発行を行った。

発行回数：2回（7月、1月）

発効部数：1万8千部

発行方法：市町村老連を通じて単位クラブ会長へ配布

また、紙面の企画・編集について編集委員会による「ゆめジャーナル神奈川」の評価と編集内容について委員会を開催した。

開催月日	内 容	会 場
2.9.17	1 令和2年7月号(第199号)の製作発行状況について 2 令和3年新年号(第200号)の企画内容について	かながわ県民センター
3.3.12	令和2.3.13開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催に変更。 1 令和3年新年号(第200号)の製作発行状況について 2 令和3年7月号(第201号)の企画内容について	かながわ県民センター

(2) ゆめクラブ神奈川ホームページによる広報

県老連の活動内容をより分かりやすくするとともに、広く一般県民に周知するために県老連事業の活動報告、県老連の概要、機関紙「ゆめジャーナル」、新着情報、お役立ち情報、ツイッターなどを掲載し、老人クラブへの理解と参加を発信した。昨年度から、スマートフォンでの閲覧にも対応可能となった。

3 調査及び情報の収集提供等

(1) 市町村老連実態調査の実施

市町村老連の組織状況及び活動状況について調査した。

(2) 県老連事業情報の提供と市町村老連行事の収集を行った。



わくわくニコニコ楽しく生きる

1 役員会の開催

(1) 正副理事長会議の開催

県老連の運営・企画に関する事項について正副理事長会議を開催した。

開催回数：11回(4, 5月は書面開催)

(2) 理事会の開催

令和元年度事業・決算報告、理事候補者の評議員会への推薦、監事候補者の評議員会への推薦、正副理事長及び常務理事の選任、評議員会の書面開催、令和2年度事業執行状況、令和3年度事業計画・収支予算について協議を行った。

開催回数：5回(うち2回は書面による決議)

(3) 評議員会の開催

令和元年度事業・決算報告、理事・監事の選任、評議員の選任及び令和3年度事業計画及び収支予算等について協議を行った。

開催回数：3回(うち2回は書面による決議)

(4) 監事会

令和元年度事業及び決算について、監事による監査を行った。

実施日：令和2年5月11日

2 老人クラブの組織の強化

(1) 会員増強運動の推進

各市町村老連において、老人クラブ加入促進月間推進要領による、10月から3月の加入促進期間を中心に、加入促進推進計画に基づいて運動を展開した。

3 各種大会、つどい等の開催及び参加

(1) 神奈川県老人クラブ等功労者のつどいの開催

新型コロナウイルス感染症に配慮し、表彰式、祝賀会は実施せず。

永年、老人クラブ活動に功績のあった個人及び団体に対して顕彰を行った。

また、高齢者福祉関係功労者等の知事表彰を併せて行った。

受賞者：知事表彰 4団体・7個人

理事長表彰 14団体・58個人・友愛チーム10団体

(2) 令和3年新年賀詞交歓会の開催

新型コロナウイルス感染症に配慮し、開催を見送った。

(3) 全国老人クラブ大会への参加

令和2年11月17～18日に山形県で開催を予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で大会の開催は中止となった。

《全老連会長表彰の受賞者》

1 育成功労者：

① 都道府県老連役員 安藤正義(相模原市)

② 郡市区町村老連役員 関伴治(座間市)

2 優良老人クラブ連合会：三浦市老人クラブ連合会

3 優良老人クラブ：ひかわ会(相模原市)

4 連絡調整事業の実施

(1) 県下ブロック老連連絡調整会議

県下市町村老連を6ブロックに区分し、幹事老連を事務局として、市町村老連

の情報交換と県老連事業の企画のために連絡調整会議を行った。

6ブロック：計30回(書面開催2回を含む)

(2) 市町村老連事務局長(担当者)会議の開催

市町村老連、ブロック老連と県老連の連携を密にすることにより、相互の事業が充実することを目的とする会議。

開催日：令和3年3月25日

議 題：令和2年度補助金等実績報告書の提出について
令和3年度事業計画及び収支予算について
令和3年度補助金等交付申請書の提出について

(3) ブロック及び市町村老連が開催する大会等への参加

ブロック老連や市町村老連が開催する連絡会議、研修会、グラウンド・ゴルフ大会に職員を派遣した。

(4) 県、政令市老連連絡調整会議

県老連、横浜市老連及び川崎市老連の三者が、各老連が抱える課題等について、情報提供や意見交換を行った。

開催日：令和2年12月18日

場 所：川崎駅前タワーリパーク

参加者：9名

議 題：令和2年度の予算、事業計画について
その他情報提供、意見交換

(5) 関東甲信越静岡ブロック老人クラブ連絡協議会

新型コロナウイルス感染症への心配から書面開催となった。

協議事項

- ・コロナ禍における加入促進活動
 - ・休会、解散を復活させるための市町村から自治会長や民生委員に協力要請してもらえる体制整備の必要性
 - ・老人クラブ会長退任に伴う後継者不在による解散を防ぐ取り組み
- 情報交換
- ・広報紙の発行
 - ・女性役員の比率を高めるための取り組み 他

(6) 全国老人クラブ連合会

全老連が主催する評議員会や代表者会議等に役職員が構成員となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催または中止となった。

(7) 神奈川県、神奈川県社協等

神奈川県の各局が主管する審議会や委員会、協議会・部会等並びに(福)神奈川県社会福祉協議会評議員会等に役職員が構成員として参画した。

5 財政基盤の確立及び募金運動の展開

(1) 財政基盤の確立

ア “ゆめクラブ神奈川あり方委員会”からの答申（令和元年12月16日付け）に対する正副理事長会での検討し、その結果を理事会及び評議委員会へ報告した。

イ ゆめクラブ活性化推進事業募金運動の実施

期 間：令和2年4月～令和3年3月

募金額：333,580円

ウ 事業活動基金管理委員会の開催

事業活動基金の募金活動方法等について委員会を開催した。

第1回

開催日：令和2年9月16日

場 所：かながわ県民センター

議 題：委員長・副委員長の選出、募金の推移、令和3年度募金の活用について

第2回

開催日：令和2年12月10日

場 所：かながわ県民センター

議 題：委員長・副委員長の選出、令和3年度募金の活用について、県老連60周年記念事業について

第3回

開催日：令和3年2月24日

場 所：神奈川県社会福祉会館

議 題：令和3年度募金の活用について

エ 県への予算要望活動等

友愛チーム活動事業の補助単価の引上げ及びゆめクラブ大学事業の継続実施、新型コロナ禍への対応からICT(情報通信技術)を活用した地域や仲間とのつながりを持続させるための研修、新しい執務場所の確保等について、県知事、県議会議長等へ予算要望活動を行った。

実施日：令和2年8月4日

参加者：安藤副理事長、福地事務局長

また各市町村老人クラブ連合会長が、県議会議員に対して同内容の要望活動を行った。

令和2年度

収支決算

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

目 次

貸借対照表	1
正味財産増減計算書	2
正味財産増減計算書内訳表	4
財務諸表に対する注記	6
附属明細書	9
財産目録	10
貸借対照表(内訳表)	11
監査報告書	12

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,391,639	9,135,686	255,953
現金	206,406	17,530	188,876
普通預金	7,586,286	8,766,261	△ 1,179,975
郵便貯金	1,598,947	351,895	1,247,052
未収金	216,375	139,604	76,771
仮払金	16,000	0	16,000
流動資産合計	9,624,014	9,275,290	348,724
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	22,310,000	22,310,000	0
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	32,310,000	32,310,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,069,413	867,413	202,000
特定資産合計	1,069,413	867,413	202,000
固定資産合計	33,379,413	33,177,413	202,000
資産合計	43,003,427	42,452,703	550,724
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	371,727	3,494,774	△ 3,123,047
預り金	115,942	275,994	△ 160,052
賞与引当金	819,000	534,000	285,000
流動負債合計	1,306,669	4,304,768	△ 2,998,099
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,069,413	867,413	202,000
固定負債合計	1,069,413	867,413	202,000
負債合計	2,376,082	5,172,181	△ 2,796,099
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	39,627,345	36,280,522	3,346,823
(うち基本財産への充当額)	(31,310,000)	(31,310,000)	(0)
正味財産合計	40,627,345	37,280,522	3,346,823
負債及び正味財産合計	43,003,427	42,452,703	550,724

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	24,291	24,204	87
基本財産受取利息	24,291	24,204	87
受取分担金	8,169,500	8,559,160	△ 389,660
受取分担金	8,169,500	8,559,160	△ 389,660
事業収益	308,000	3,046,690	△ 2,738,690
機関紙等収益	308,000	925,000	△ 617,000
各種行事参加収益	0	2,121,690	△ 2,121,690
受取補助金等	14,295,500	15,314,100	△ 1,018,600
受取地方公共団体補助金	14,295,500	15,114,100	△ 818,600
受取民間補助金	0	200,000	△ 200,000
受取委託費	6,213,510	6,124,080	89,430
受取地方公共団体委託費	6,213,510	6,124,080	89,430
受取寄付金	4,703,580	1,780,611	2,922,969
受取寄付金	4,000,000	1,329,500	2,670,500
受取県共募寄付金	370,000	50,000	320,000
受取事業活動基金	333,580	401,111	△ 67,531
雑収益	239,847	447,982	△ 208,135
受取利息	100	110	△ 10
雑収益	239,747	447,872	△ 208,125
経常収益計	33,954,228	35,296,827	△ 1,342,599
(2) 経常費用			
事業費	26,393,062	33,101,507	△ 6,708,445
給料手当	8,373,194	8,823,901	△ 450,707
臨時雇賃金	218,180	0	218,180
賞与引当金繰入	672,000	466,000	206,000
退職給付費用	188,000	991,988	△ 803,988
法定福利費	1,433,662	1,509,125	△ 75,463
共済掛金	116,469	122,190	△ 5,721
福利厚生費	56,191	57,349	△ 1,158
会議費	131,808	259,826	△ 128,018
旅費交通費	295,888	1,030,635	△ 734,747
通信運搬費	543,260	467,582	75,678
消耗什器備品費	48,319	0	48,319
消耗品費	234,384	476,884	△ 242,500
印刷製本費	541,734	1,025,362	△ 483,628
新聞・図書費	0	677	△ 677
修繕維持費	213,557	216,658	△ 3,101
貸借料	1,122,633	2,681,709	△ 1,559,076
諸謝金	91,222	303,800	△ 212,578
支払手数料	153,066	162,497	△ 9,431
租税公課	10,000	10,000	0
支払負担金	0	61,000	△ 61,000
支払助成金	11,648,321	14,370,460	△ 2,722,139
委託費	296,400	25,920	270,480
雑費	4,774	37,944	△ 33,170

管理費	4,214,343	4,896,538	△ 682,195
給料手当	1,895,290	2,071,097	△ 175,807
賞与引当金繰入	147,000	68,000	79,000
退職給付費用	14,000	346,642	△ 332,642
法定福利費	313,501	353,169	△ 39,668
共済掛金	24,531	27,810	△ 3,279
福利厚生費	14,022	9,580	4,442
会議費	8,004	84,011	△ 76,007
旅費交通費	103,692	190,655	△ 86,963
役員費	94,200	33,000	61,200
通信運搬費	65,696	59,301	6,395
消耗品費	19,090	19,061	29
印刷製本費	0	6,732	△ 6,732
新聞・図書費	900	900	0
修繕維持費	76,495	54,843	21,652
賃借料	251,477	331,817	△ 80,340
支払手数料	629,445	505,950	123,495
支払負担金	537,000	714,000	△ 177,000
雑費	20,000	19,970	30
経常費用計	30,607,405	37,998,045	△ 7,390,640
評価損益等調整前当期経常増減額	3,346,823	△ 2,701,218	6,048,041
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,346,823	△ 2,701,218	6,048,041
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,346,823	△ 2,701,218	6,048,041
一般正味財産期首残高	36,280,522	38,981,740	△ 2,701,218
一般正味財産期末残高	39,627,345	36,280,522	3,346,823
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	40,627,345	37,280,522	3,346,823

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	24,291	0	0	24,291
基本財産受取利息	24,291	0	0	24,291
受取分担金	4,085,000	0	4,084,500	8,169,500
受取分担金	4,085,000	0	4,084,500	8,169,500
事業収益	308,000	0	0	308,000
機関紙等収益	308,000	0	0	308,000
受取補助金等	14,295,500	0	0	14,295,500
受取地方公共団体補助金	14,295,500	0	0	14,295,500
受取委託費	6,213,510	0	0	6,213,510
受取地方公共団体委託費	6,213,510	0	0	6,213,510
受取寄付金	3,035,580	245,000	1,423,000	4,703,580
受取寄付金	2,332,000	245,000	1,423,000	4,000,000
受取県共募寄付金	370,000	0	0	370,000
受取事業活動基金	333,580	0	0	333,580
雑収益	189,818	0	50,029	239,847
受取利息	71	0	29	100
雑収益	189,747	0	50,000	239,747
経常収益計	28,151,699	245,000	5,557,529	33,954,228
(2) 経常費用				
事業費	25,979,631	413,431	0	26,393,062
給料手当	8,057,957	315,237	0	8,373,194
臨時雇賃金	218,180	0	0	218,180
賞与引当金繰入	646,000	26,000	0	672,000
退職給付費用	178,000	10,000	0	188,000
法定福利費	1,378,722	54,940	0	1,433,662
共済掛金	111,381	5,088	0	116,469
福利厚生費	54,025	2,166	0	56,191
会議費	131,808	0	0	131,808
旅費交通費	295,888	0	0	295,888
通信運搬費	543,260	0	0	543,260
消耗什器備品費	48,319	0	0	48,319
消耗品費	234,384	0	0	234,384
印刷製本費	541,734	0	0	541,734
修繕維持費	213,557	0	0	213,557
賃借料	1,122,633	0	0	1,122,633
諸謝金	91,222	0	0	91,222
支払手数料	153,066	0	0	153,066
租税公課	10,000	0	0	10,000
支払助成金	11,648,321	0	0	11,648,321
委託費	296,400	0	0	296,400
雑費	4,774	0	0	4,774

管理費	0	0	4,214,343	4,214,343
給料手当	0	0	1,895,290	1,895,290
賞与引当金繰入	0	0	147,000	147,000
退職給付費用	0	0	14,000	14,000
法定福利費	0	0	313,501	313,501
共済掛金	0	0	24,531	24,531
福利厚生費	0	0	14,022	14,022
会議費	0	0	8,004	8,004
旅費交通費	0	0	103,692	103,692
役員費	0	0	94,200	94,200
通信運搬費	0	0	65,696	65,696
消耗品費	0	0	19,090	19,090
新聞・図書費	0	0	900	900
修繕維持費	0	0	76,495	76,495
賃借料	0	0	251,477	251,477
支払手数料	0	0	629,445	629,445
支払負担金	0	0	537,000	537,000
雑費	0	0	20,000	20,000
経常費用計	25,979,631	413,431	4,214,343	30,607,405
評価損益等調整前当期経常増減額	2,172,068	△ 168,431	1,343,186	3,346,823
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	2,172,068	△ 168,431	1,343,186	3,346,823
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,172,068	△ 168,431	1,343,186	3,346,823
当期一般正味財産増減額	2,172,068	△ 168,431	1,343,186	3,346,823
一般正味財産期首残高	34,939,348	273,569	1,067,605	36,280,522
一般正味財産期末残高	37,111,416	105,138	2,410,791	39,627,345
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	0	0	1,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000	0	0	1,000,000
III 正味財産期末残高	38,111,416	105,138	2,410,791	40,627,345

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・ 満期保有目的の債券
償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の評価基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

科	目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産					
	定期預金	22,310,000	0	0	22,310,000
	投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
	小計	32,310,000	0	0	32,310,000
特定資産					
	退職給付引当資産	867,413	202,000	0	1,069,413
	小計	867,413	202,000	0	1,069,413
	合計	33,177,413	202,000	0	33,379,413

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	22,310,000	(1,000,000)	(21,310,000)	—
投資有価証券	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小 計	32,310,000	(1,000,000)	(31,310,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	1,069,413	—	—	(1,069,413)
小 計	1,069,413	—	—	(1,069,413)
合 計	33,379,413	(1,000,000)	(31,310,000)	(1,069,413)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位: 円)

種 類 及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
神奈川県第229回公募公債	10,000,000	10,099,650	99,650
合 計	10,000,000	10,099,650	99,650

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
事業費補助金	神奈川県	0	14,295,500	14,295,500	0	—
合 計		0	14,295,500	14,295,500	0	

6. 引当金の明細

(単位: 円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞与引当金	534,000	819,000	534,000	0	819,000
退職給付引当金	867,413	202,000	0	0	1,069,413

7. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度及び神奈川県福利協会の退職金共済によっている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務 … 1,069,413 円

(3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用(県老連) … 202,000 円

勤務費用(福利協会) … 141,000 円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額によっている。

8. 資産除去債務に関する事項

当法人は、横浜市神奈川区の本部事務局について神奈川県からの県有財産賃貸借契約書に基づいて使用している。同契約書には退去時における原状回復義務が明記されているが、当該債務に関連する賃貸借期間が明確でなく、財産管理者から原状回復義務が免除される場合もあるため、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記6. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

貸借対照表内訳表

令和 3年 3月31日現在

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	6,478,342	131,138	2,782,159	9,391,639
現金	0	0	206,406	206,406
普通預金	5,873,962	131,138	1,581,186	7,586,286
郵便貯金	604,380	0	994,567	1,598,947
未収金	216,375	0	0	216,375
仮払金	0	0	16,000	16,000
流動資産合計	6,694,717	131,138	2,798,159	9,624,014
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	22,310,000	0	0	22,310,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
基本財産合計	32,310,000	0	0	32,310,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	938,645	55,091	75,677	1,069,413
特定資産合計	938,645	55,091	75,677	1,069,413
固定資産合計	33,248,645	55,091	75,677	33,379,413
資産合計	39,943,362	186,229	2,873,836	43,003,427
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	179,301	0	192,426	371,727
預り金	68,000	0	47,942	115,942
賞与引当金	646,000	26,000	147,000	819,000
流動負債合計	893,301	26,000	387,368	1,306,669
2. 固定負債				
退職給付引当金	938,645	55,091	75,677	1,069,413
固定負債合計	938,645	55,091	75,677	1,069,413
負債合計	1,831,946	81,091	463,045	2,376,082
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	1,000,000	0	0	1,000,000
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(0)	(0)	(1,000,000)
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	37,111,416	105,138	2,410,791	39,627,345
(うち基本財産への充当額)	(31,310,000)	(0)	(0)	(31,310,000)
正味財産合計	38,111,416	105,138	2,410,791	40,627,345
負債及び正味財産合計	39,943,362	186,229	2,873,836	43,003,427

監査報告書

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

理事長 樋口 恢 作 殿

令和 3 年 5 月 10 日

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

監事 菊池 信良 

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

監事 市原 尚武 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。